

事務事業名	市立病院運営事業			会計	病院事業		事業種別	政策	開始	終了
H27担当課等名	経営企画課		H27係等名	H26係等名						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	32	医療の充実							
目的	対象(誰・何を)	二次医療圏(飯田下伊那地域)の住民及びその他の飯田市立病院利用者					対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	当地域の医療圏において適正な医療が受けられる						飯田市及び下伊那郡の住民(人口)	164178	
	向上させたい上位施策の成果指標	必要な医療が受けられると感じる市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	患者満足度調査 外来患者満足度			90	94.5	90	90		
	成果指標	患者満足度調査 入院患者満足度			90	95.4	90	90		
	定性目標									
事業概要	二次医療圏(飯田下伊那)の中核病院として、地域医療の充実に取り組む。									
	病院の概要 一般病床403床 感染症病床4床 診療科目 32科 医師数 104名(研修医含む) 職員総数924名(臨時職員含む)(H27.4.1現在) 中核病院及び公立病院としての取組 患者中心の医療を实践 診療体制の充実(医師・看護師等の充実、救命救急医療の体制整備、高度医療の充実、産科体制の充実) 医療安全の確保、病院の健全経営、がん診療連携拠点病院としての取組、医療機関の連携推進									
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標	
	1 中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上を進め、安全・安心で良質な医療を提供する (1)診療体制の充実、医療安全の確保、健全経営の推進、DPC/PDPSの有効活用、がん診療連携拠点病院の取組 (2)産科体制の充実 (3)外来改修、病棟改修・病棟再編の検討 (4)患者満足度の向上 (5)職員が誇りを持って働ける職場づくり 2 健全経営に向けて取り組む (1)経常収支の黒字					外来患者数 入院患者数 救急車受入件数 分娩件数			239,647人 114,189人 3,144件 1,101件	
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		14,868,604	17,417,705	16,697,918	14,629,024	・(国)臨床研修等補助金 ・(県)がん診療連携拠点病院補助金ほか ・病院事業債 充当率100% ・一般財源は一般会計からの繰入金 (病院事業については、事業費に人件費を含んでいる。) 平成25年度までは第3次整備事業は別事業で整理。平成26年度以降は区分なし。過去の予算・決算額は合算済み。				
国庫支出金		17,623	20,000	18,797	20,000					
県支出金		225,547	49,500	47,413	41,500					
起債		1,683,100	544,400	374,700	766,200					
その他		11,326,680	15,394,205	14,847,408	12,503,194					
一般財源		1,615,654	1,409,600	1,409,600	1,298,130					
人件費計(千円)②		0		0						
正規職員所要時間										
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		14,868,604	17,417,705	16,697,918	14,629,024					
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年度は延べ入院患者数が若干減少した。会計制度の移行処理のための特別損失があり純損失を計上したが、経常利益は黒字であった。									
改革改善の考え方	①問題点	二次医療圏内で一定レベルの医療が確保されているが、さらに関係機関との連携、医師・看護師の確保、医療体制の充実や医療水準の向上が必要。診療体制の変化(分娩・救急医療等)、突然の変化(感染症・災害等)に対応できる、長期的に安定した医療の確保。								
	②改革提案	飯伊地区包括医療協議会を中心に、休日夜間急患診療所や病院群輪番制、在宅当番医制などにより当地域の救急医療体制を維持する。飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]の普及。								